

大会第1日目 7月15日(土) 国立京都国際会館

会場	第1会場 大会議場	第2会場 Room C-1	第3会場 Room C-2	第4会場 Room H	ポスター&展示会場 Room E	
9:00						9:00
10:00					10:00～11:00 ポスター貼付	10:00
11:00	10:50～11:00 開会式 11:00～11:45 (45分) 大会長講演「患者像をつかむ！」 座長：長家 智子 演者：任 和子				11:00～16:30 ポスター閲覧	11:00～16:30 企業展示会
12:00	12:00～13:00 共催セミナーⅠ 「これからの看護に望まれる思考プロセスとは ～臨床推論と実践アセスメント」 座長：井川 順子 演者：山勢 博彰 共催：株式会社学研メディカル秀潤社					12:00
13:00						13:00
14:00	13:10～14:10 (60分) 特別講演Ⅰ 「再考：患者像に名前をつけること」 座長：任 和子 演者：村井 俊哉					14:00
15:00	14:15～15:15 (60分) 教育講演Ⅰ 「脳卒中ケアの地域連携～情報共有 における課題と看護診断への期待」 座長：吉岡さおり 演者：鈴木千佳代	14:15～15:45 (90分) 特別セッションⅠ 「看護診断とクリニカルパスの共存」 座長：山中 寛恵 演者：安東 正恵 藤澤 誠 疋田 智子	14:15～15:45 (90分) 事例セッションⅠ 「NANDA-I看護診断、NIC、NOCを 看護計画に使ってみよう！ ～事例の看護計画の立案～」 下舞紀美代 他	14:15～16:15 (120分) 交流セッションⅠ 「看護に必要な臨床推論を考える ～シナリオ・ロールプレイを 用いて～」 土肥 直樹 他	14:15～14:55 (40分) 一般演題/示説Ⅰ	15:00
16:00	15:20～16:20 (60分) 特別講演Ⅱ 「患者中心のチーム医療の現在 ～米国急性期病院の実践から～」 座長：松田美紀子 演者：竹熊カツマタ 麻子				15:20～16:00 (40分) 一般演題/示説Ⅱ	16:00
17:00	16:30～17:30 (60分) 総会					17:00
18:00					17:40～19:00 懇親会(スワン)	18:00
19:00						19:00

大会第2日目 7月16日(日) 国立京都国際会館

会場	第1会場 大会議場	第2会場 Room C-1	第3会場 Room C-2	第4会場 Room H	ポスター&展示会場 Room E	
8:00						
9:00	9:00～10:00 (60分) 特別企画 「日本の臨床でよく使われる看護診断」 座長：黒江ゆり子 演者：江川 隆子	9:00～10:00 (60分) 特別セッションII 「米国におけるクリニカルナースリーダーの役割と日本における活動への期待」 座長：任 和子 演者：竹熊カツマタ 麻子、角田みなみ	9:00～10:30 (90分) 交流セッションII 「臨床にあふれている優れた実践例を研究論文にしよう！！～事例報告・事例研究の取り組み方～」 大島 弓子 他	9:00～10:00 (60分) 交流セッションIII 「精神疾患に身体疾患を合併した終末期を迎えた人のスピリチュアルケア～ウエルビーイングに向けた看護師の関わり～」 白石壽美子 他	9:00～15:20 ポスター閲覧	9:00～15:20 企業展示会
10:00	10:05～11:05 (60分) 教育講演II 「ビッグデータ科学時代の看護情報の蓄積」 座長：山中 寛恵 演者：黒田 知宏	10:05～11:05 (60分) 一般演題/口演I群		10:10～12:10 (120分) 交流セッションIV 「看護診断：意思決定葛藤について深く知ろう～それって本当に意思決定葛藤?～」 佐藤 正美 他	10:05～10:37 (32分) 一般演題/示説III	
11:00	11:10～12:10 (60分) 教育講演III 「クリニカルパスと看護診断 過去・現在・未来」 座長：伊藤三紀子 演者：村木 泰子	11:10～12:10 (60分) 一般演題/口演II群	10:40～12:10 (90分) 事例セッションII 「アセスメント能力強化に向けてスタートした新人の事例研究4年目の成果と課題(報告第2弾)～アンケート調査結果～」 本郷久美子 他		11:10～11:42 (32分) 一般演題/示説IV	
12:00						
13:00		12:20～13:20 特別セッションIII 「地域包括ケアにおける意思決定支援～看護者の役割を考える～」 座長：上野 栄一 演者：土肥 直樹、小川 薫	12:20～13:20 共催セミナーII 「Amenity-Health Creative Products 創製への挑戦～皮膚バリア機能改善素材(ナールスゲン®)と化粧品～」 座長：竹之内沙弥香 演者：松本 和男 共催：株式会社ナールスコラボレーション		13:30～14:02 (32分) 一般演題/示説V	
14:00	13:30～14:30 (60分) 教育講演IV 「患者像をつかむアセスメントと看護診断」 座長：片山由加里 演者：伊東美佐江	13:30～14:30 (60分) 交流セッションV 「新たなデザインとしての事例研究方法について～事例検討会からケース・スタディ・リサーチへ進めよう～」 黒江ゆり子 他	13:30～14:30 (60分) 交流セッションVI 「日本で使いやすい看護診断を発信しよう！活動を始めて見ませんか？ 第2弾」 主催：日本看護診断学会用語検討委員会 長谷川智子 他	13:30～15:30 (120分) 交流セッションVII 「機械学習 (Machine Learning) による看護診断」 服部 兼敏 他		
15:00	14:40～16:30 (110分) シンポジウム 「患者像をつかむ、伝える、共有する～変わりゆく医療現場の中で～」 座長：山田佐登美、西田 直子 演者：本田 育美、北村 愛子 桑田美代子	14:40～15:40 (60分) 交流セッションVIII 「Let's Try! 看護研究 看護診断研究の基礎を学ぼう！」 奥津 文子 他	14:40～16:10 (90分) 交流セッションIX 「臨床で使える看護診断を検討する。～事例を通して、使える看護診断を考える～」 笠岡 和子 他		14:40～15:12 (32分) 一般演題/示説VI	
16:00					15:20-16:50 ポスター撤去	
17:00	16:30～16:35 JSND23 Award 授賞式 16:35～16:45 閉会式					
18:00						